

私と下関の奇しき縁 学長 下山房雄

私が市立大学学長として1998年4月から下関で暮らすことになったのは、必然性半分偶然性半分の普遍的現象で、特に「奇しき縁」というわけではない。でも下関に來なければ「私と下関の奇しき縁」は無かった。そこで、まず話の前提として下関に縁ができた所以から書いておこう。

東京生まれ東京育ち（ただし1944年4月から疎開で7年間は群馬県桐生で生活）の私が横浜国大経営学部夜間部教員から九大経済学部教員になった（87年4月）のが前提の第一である。この経緯については省いて（『経済科学通信74号 93年』参照）、福岡で働き始めた私に早々におきたことの一つで九州・山口の研究者が二人、「先生のご指導を得たい」とそれぞれ訪ねてきたことを話しの始まりとしておく。この依頼に対して私は「修士が終わってれば一人前の研究者」と自分の先生の一人（東大社研・氏原正治郎氏）から言われた言葉を継承して「一対一の関係で議論しながら共に育っていきましょう」と答え、福岡周辺の労働問題関連理論家半数、実践家半数という構成で毎月一回程度開催されていた社労研（社会労働問題研究会）と一緒に参加することを誘ったのである。それから、生ノ松原の中にある九大宿舎の私の家に、前夜の研究会、モツ鍋屋での飲み会に引き続き泊まり、翌日、松原の中を散歩しながら議論の続きやら学界や大学の話をするという折々の関係に入ったのが小川和憲さん（日本文理大 後に宮崎大）と本学の山本興治さんであった。結果論であるが、山本さんはこうして十年間、私を観察していたといえる。

前提の第二は、九大定年退職（97年3月）後の無職状態。私の再就職について、高島通敏、牧野富夫、宮島尚史の専門も思想も違う人たちが（ネットでどういふ人たちかを調べて下さい）が共通して心配し、尽力もしてくれた。しかしその三人の誰からかは忘れたが「君のような批判的立場を公言あるいは広言してきた人の再就職は困難」と言われたごとくで、再就職はできなかった。亜細亜大学が「社会政策」担当教員の公募を朝日新聞紙上でやっているの「お父さん、受けてみたら」と息子の一人に勧められ応募したが、不合格ということもあった。亜細亜大学の前任者は元日経連調査部長で、そのポストに私が納まるわけがないのだが、新聞で公募する開明性に「もしかして」と思い応募したのである。そうした状況で推移した97年の夏の終わりごろ、突然、山本さんから下関市立大学学長選の候補に挙げるかどうかの電話がかかってきた。九大での組合活動で知り合った歴史家が、長崎総合科学大学に就職して何年かの後、勝利がまずない「大義選挙」になるが学長候補になってほしいと私に頼むということがそれ以前にあり、それには「落選確定なら引き受けます」と答えていた。山本さんの依頼はそれとは違って実際にやってくれるかとの話なのである。福岡での十年間にその種の話題は全く無かったし、全く考えても見なかった話だ。だがとにかくこの電話での突然の依頼に、突然の挑戦決断で応諾、その後の六年間の下関生活が来ることになったという次第。

さて本題の「奇しき縁」の第一は、天草出身で九州各地の公共的建築物にフレスコ画を描いている画家・石山義秀さんと同じ土地に住むことになったということ。彼とは85年春、南仏エクス・アン・プロヴァンスで出会った。ボザール（美術学校）での何年かの留学を終えて下関に戻ろうとしている彼から、ブジョーの小型中古バイク（フランスではモビレットと言われている）を私は買った。大きな農家の中庭の大きな樹の周りをグルグル回ったのが私の最初のバイク運転経験となった。石山ヒデさんはこのバイク代金をマルセイユ港から自分の絵を送る費用にあて、私は「バイクでプロヴァンスの田園を疾走する」（拙著『現代世界と労働運動』256頁）ことを週末の生活として一年のフランス生活を送った。帰国後、急に私の九大に移る話が決まり、福岡一下関の距離なので九大時代には何回か彼と再会した。しかし今度は同じ下関で暮らすことになった。彼は関門海峡の釣りの名人でもあり、「大きなチヌが釣れました。届けます」ということもある関係である。

日と山の裏にある水道局玄関ホールにヒデさん作のフレスコ画がある（写真Ⅰ）。それを見て、ラファエロ「アテネ



写真Ⅰ

の学堂」的雰囲気
の青年群
像を本学
学術セン
ター玄関
ホールの
壁面に描
いて貰い
たいと願
い、毎年
の予算要
求を行な
ってもき
た。しか
し未だ実
現してい

ない。本学創立50周年の2006年には、本町の旧銭湯をアトリエにしている郷土の画家・ヒデさんのフレスコ画が本学にできて話題をよんでいることを心から熱望している。

「奇しき縁」の第二は、功山寺の裏の墓地の一番奥に、私の姻戚筋にあたる人の墓（写真Ⅱ）があることだ。学長赴任一年目の秋、大学祭の折に長男夫婦とその娘、三歳の明子が、私の所に泊まりにきた。そこで、嫁さんの母方祖父・中山与作氏の墓参りに功山寺に行くという。えーっ！と思った。中山姓だから綾羅木の中山神社に祀られている公家の家系かと思ったがそうではないとのことだった。「作」だから百姓で、明治維新で姓を主人筋に因んでつけたか。孫の明子は、墓前で手を合わせ「明子です。元気に暮らしております」と拝んだそうだ。

写真Ⅱ



なお、嫁さんのお母さんの一戸葉子さんは、いま婦人民主クラブ(再建)会長で大活躍の人だが、中山葉子の娘時代は父に付いて釜山で生活した。そこでの山口県人会の独特な雰囲気、戦後も明治天皇制国家の偉人を輩出した県出身の自慢一筋」という形で、99年春の「市大日の丸事件」の折に私への激励文の中で描写してもらった。

不思議の第三は写真Ⅲに係る。アジア太平洋戦争末期、強制連行あるいは俘虜として囚われ日本に釜山労働力として送られてまず到着したのが、彦島にあった検疫所・俘虜収容所であった。そこであるいは航海の途中で、死亡した中国人の遺骨が55年、市営墓地から発掘され中国へ送還された。85年になって遺骨があった場所の近くに作られたのが写真の椋野・園陵寺にある日中平和記念慰霊碑である。

1954年、私の青年時代、戦後初の中国からの訪日団として紅十字会代表李徳全一行が来日した。中国を中共と侮蔑的によぶ事が支配的な中で、私は一行歓迎運動に参加し

た。極右の攻撃から一行を防衛するというので、徹夜でホテルの周りに立った。また現在でも日中友好運動の潮流の一つで歌われ続けている「東京—北京」の作詞もした。

ところで数年前、本学で「地域論」の講義をして頂いて、もいる下関の郷土史家・前田博司さんの著書『混乱の半世紀を語る 下関をめぐる国際交流の歴史』で、李徳全が中国人殉難者遺骨の下関からの送還に感謝して57年12月再来日、18日夕「かもめ」で到着する紅十字会一行を歓迎して下関駅前に五星紅旗を手にした市民五百余人余が集まり「東京—北京」の歌声が広がるという風景があったことを知った。当時の私はその後の私の職業人生を規定する修士論文を必死で書いており、下関でそうなっていることなど2001年まで全く知らずにきたのだ。だがいま下関駅前に立つと、群衆の歌う「東京—北京」の歌声が心に聞こえ、胸が熱くなる。



写真Ⅲ

学ぶことの楽しさ求めて

——次期学長としての抱負——

堀内 隆 治



昨年秋の学長選挙で4月から学長職をお引き受けすることになった。その折「学長に就任した場合の抱負」を述べた。以下は、その趣旨である。

下関市立大学は06年に短大創立以来50周年を迎える。幾多の苦難、例えば市財政危機による私学移管問題などの苦難の歴史を歩んできた。思い出すのは折々の教職員の地道な努力であり、共同の智慧であり、同窓生・市民の支援である。その精神を大事にしたい。

いま、亡き恩師の「学ぶことは本当は楽しいことだ」という言葉を思い起こしている。時代は「学びの危機」という状況を呈している。学ぶことが競争の手段となり、忌避すべき苦痛となり、市場価値のための効率化を迫られている。本学は地域で夜間に学ぶ勤労学生の熱意から生まれた。その出自に本学の原点を求めたい。学ぶことが学ぶこととして尊重され、享受される大学でありたい。誰にでも学ぶ自由が保障され、何時でも学びの門をくぐれる地域社会でありたい。

「研究は地域に根ざし、教育は世界に開く」(第4代山田龍雄学長の遺訓)という本学のモットーがある。関門に位置する地方公立大学として、このよき伝統を引継ぎたい。大学として地域のコミュニティ再生の一部を担い、国際的なコミュニケーションの拡充に貢献したい。言葉の真の意

味で「市民大学」(コミュニティ・カレッジ)として熟成していくことに本学の将来を展望したい。本学が、平和、平等、安寧を希求する市民精神の形成に資すれば幸いである。

当面の難問は法人化をどう考えるかである。私は公立大学としての継続を切望している。設置者である下関市が英断をもって直営方式を継続することを訴える。その理由は、本学のような小規模大学において法人化のような複雑で管理的なシステムは適切でなく、膨大なエネルギーを教育・研究以外の事務に消耗させる懸念が強いからである。公立の下関市立大学として50周年を迎えたいと決意している。

国立大学や大規模公立大学の法人化を垣間見ていると、行財政改革が先行しているかに見える。大学の「独立化」を手段に大学の「効率化」(大学・学部の統廃合、研究のコスト評価、教育研究費の政策的配分や削減、民間資本の導入、授業料の引き上げ、企業会計の導入)が進められ、「大学の自治」への目標管理(中期計画)を通じた外的規制が進んでいる。

大学は単純明快に「学びの場」である。教え—授ける—一方的関係ではなく、共に学び合う共鳴関係を創造したい。教職員一体となった大学コミュニティとして、透明で、公正な時間・空間を保持したい。「学ぶこと」だけによって在り「学ぶこと」だけを価値とする世界を創造したい。これが私の大学改革である。逆説めくが、それが地域に貢献する大学としての方法である。

学長としてリーダーシップが問われるが、私はよきコーディネーターでありたい。教職員、学生、市民の多元的な価値観を尊重し、自己責任に則り、公明正大な議論が保障される教授会自治を中心とした大学コミュニティを存続させたいと考えている。

北京大学への派遣留学制度発足！

2003年10月29日、本学学術センター会議室において、本学と北京大学中文系（中国語学部）との間で「学生交流協定書」が調印された。当面は、毎年2名の学生が1年間、北京大学に本学から派遣されて留学する内容で出発する。派遣期間1年の授業料は北京大学に払わねばならないが、その間の下関市大授業料は免除され、また留学期間は本学での修学年限に参入される。

Locally based, globally focusedの本学モットーを具現する装置がまたひとつ新たに加わった。近年の本学での中国語学習フィーバーが生んだこの装置が、青島大学との

北京大学・下関市立大学

学生交流協定書締結調印式



交換留学と並んで順調に機能していくことを心から願うものである。

実は昨年2月段階で、かねてから北京大学と交流のある山田助教が先方を訪問して、大学間ではほぼ合意が成立していた。しかしSARS問題の深刻化があったり、下関市当局からの支援体制の構築に手間取ったりで、9月早々に学生2名を派遣した後に、協定調印となるという運びとなった。1年の本学授業料免除、北京大学から3名の方を下関市大公費の支出による出張で呼び出すという新しい措置の意義を、結局に市当局も理解し踏み切ってくれた。この点、感謝している。（学長）

下関市立大学と北京大学の交流

中国語担当助教授 山田 留里子

このたび、市大が中国の北京大学と交流を結ぶこととなりました。そこで、ここでは、北京大学の概要とその魅力について、ほんの一部ですが、紹介したいと思います。

北京大学はハーバード大学やケンブリッジ大学と肩を並べる世界の最高学府であり、かつて、毛沢東や魯迅らも教鞭を執ったことがあることでも知られる名門大学です。北京大学は、中国では初めての国立総合大学として、1898年に創設されました。また、中国の現代史を切り開いた「新民主主義革命」の出発点である1919年の五・四運動の口火を担った大学としても知られています。

北京大学で学ぶ中国人は中国における最高の知識レベルであり、将来、各方面で中心的な役割を担う人ばかりです。また、北京大学図書館はアジアの大学の中で最大規模の図書館であり蔵書量は551万冊にも及び、現代的な大型の総合的情報文献センターとなっています。

このように、北京大学は、学習する上で最高の環境を備えています。この世界の超一流大学に、短期あるいは長期留学するチャンスが生まれました。世界が国際化を迎える今、この機会に北京大学で語学や国際感覚を身につけることには、大きな価値があるのではないのでしょうか。

さあ、あなたも市大から北京大学へ離陸しよう！

推薦入学・特別選抜・編入学の試験を実施

11月22日、本学において2004年度推薦入学・帰国子女特別選抜・編入学の試験が実施された。全国推薦では、各学科31名の募集に対して経済学科69名（前年度31名の募集に67名）、国際商学科87名（同73名）、地域推薦では、各学科33名の募集に対して経済学科55名（前年度34名の募集に対して46名）、国際商学科48名（同40名）の志願者があった。帰国子女特別選抜には、各学科2名の募集に対して志願者がなかった（前年度なし）。社会人特別選抜では、各学科3名の募集に対して、経済学科に対して2名（前年度3名）の志願者があり、国際商学科に対しては志願者がなかった（同3名）。編入学では、各学科10名の募集に対して経済学科25名（前年度20名）、国際商学科33名（同24名）の志願者があった。

合格者の内容は次の通り。全国推薦では、経済学科32名、国際商学科36名。地域推薦では経済学科35名、国際商学科33名。社会人特別選抜では経済学科1名。編入学では、経済学科6名、国際商学科5名。

志願状況を前年度と比べると、全国推薦、地域推薦のいずれにおいても、両学科ともに志願者が増えた。全国推薦では、経済学科で2名、国際商学科で14名と増加した。今年度募集人員は前年度と同じであったため、経済学科の倍率は変わらず2.2倍であったが、国際商学科では2.8倍（前年度2.4倍）と若干上昇した。一方、地域推薦では経済学科で9名、国際商学科で8名志願者が増加し、倍率はそれぞれ1.7倍（前年度1.4倍）、1.5倍（同1.2倍）と若干上昇した。地域推薦の志願者は、やや減少を見せた昨年度とは変わって、盛り返した。

大学院経済学研究科学生募集（第二次）

以下の要領で平成16年度の第二次学生募集を実施する。

1. 募集人員

経済社会システム専攻	若干名
国際ビジネスコミュニケーション専攻	若干名

2. 試験期日・出願期間

試験期日：平成16年3月13日（土）

出願期間：平成16年2月20日（金）～2月27日（金）

（※選抜方法については、学生募集要項をご覧ください）

（※出願資格に関する詳細は本学教務部へ）

3. 合格発表

平成16年3月22日（月）午前10時、本学にて

大学院経済学研究科、研究生・科目等履修生募集

本学の施設を利用し特定の研究をする制度にもとづき、本年も以下の要領で研究生を募集する。

履修期間：1年以内。短期間の履修、延長も可

入学時期：不定期

志願方法：学年、学期開始1ヶ月前までに出願書類を提出。

出願書類：①研究生入学願 ②履歴書 ③研究計画書 ④

最終出身校の卒業（修了）証明書又は学位記証明書 ⑤その

他本学が必要と認めるもの ⑥入学検定料・入学金・授業料

科目等履修生の募集については以下の要領で実施。

履修期間・入学時期：1年又は1学期、学年又は学期の初め

履修科目：1年間に8単位以内。演習及び非開講科目を除く

志願方法：学年、学期開始1ヶ月前までに出願書類を提出

出願書類：①科目等履修生願書 ②履歴書 ③大学卒業証

明書等。60歳以上の方は減免申請書 ④その他本学が必要

と認めるもの ⑤聴講料

（※いずれも外国人留学生については、日本留学試験等成績通知書、健康診断書等の出願書類が必要。又短期大学卒業と同等以上の学業等の資格要件がある。詳細は本学教務部へ）

就職活動支援イベント「就職革命2003」

ベンチャービジネスサークル部長
国際商学科2年 東 聖 士

こんにちは。私たちは下関市立大学ベンチャービジネスサークルです。

去る2003年12月、私たちは「就職革命2003」と題し、就職活動支援イベントを開催しました。このイベントは、関門地域を中心とした学生を対象とし、学生の就職活動への意識の向上や、都市部の大学に劣らない情報供給を目指すため企画しました。就職コンサルタントを手掛け、『内定の達人』の著者であるザメディアジョンCEOの山近善幸氏による講演、内定者による体験談、また江島潔下関市長を招いてのディスカッションを行いました。220名の来客があり、梅光学院大学、北九州市立大学、山口大学など、他大学から来た学生も多く見られました。

このイベントを行うにあたり、一つのイベントを企画・実行することの難しさを肌で感じ、またノウハウを得ることができました。私たちベンチャービジネスサークルはこうした他では得られない経験を利益として、今後も様々なことに挑戦していきます。



—セクシュアルハラスメント(SH) 防止委員会から—

①学生を対象としたSH防止研修会を実施

本学A棟131教室にて11月21日(金)5限目、講師に和光大学教授船橋邦子氏をお招きし、『恋愛とセクハラのはざま』という演題で講演していただいた。

参加者は学生100名程度、市民等3名、教員5名、職員4名であったが、同時に実施したアンケート調査結果(回答者74名)をみるとこの問題について意識の高低の差がありながらも、概ね好評であった。

同防止研修会には学生向け、教職員向け、相談員向けの3種あり、今回の研修会はそのひとつ。吉津学生部長以下学生部の協力を得ての開催の運びとなった。

②《募集します》

下関市立大学セクハラ防止ポスター・歌・マンガ募集
市大からセクハラを出さないためには、皆さんの日頃からの意識が重要です。その意識向上に役立つ、ポスター等を次のとおり募集しますので、学生・教職員の皆さんふるって応募してください。(本学SH防止委員会)

★趣旨・募集概要等の詳細は、学内に掲示しますのでそちらを見てください。

大学祭を終えて

大学祭実行委員会 委員長 内 園 航

大学祭実行委員会委員長としての今年1年間は僕にとって特別な1年でした。初めに自分が委員長になった時、正直自分にこのような大役が務まるのだろうかと不安でしかたなかったです。しかし、活動を続けていくなかで11月に行われる大学祭を成功させたいという思いが強くなり、きついこともあったけれど毎日が楽しかったし、大学祭本番を迎えるのが楽しみになってきました。

大学祭実行委員会が何をしているのかというと、11月に行われる年1度の大学の大イベントである大学祭を成功させるためにその準備をし、大学祭を裏方として支える仕事をしています。一見つまらなさそうに見えるかもしれませんが僕にとってこの大学祭実行委員会に入って3年間、特に3年生で幹部のこの1年はまさに充実していました。

今年の幹部である3年生は12人という少ない人数で、パンフレット製作、大学祭の資金集めの協賛取り、企画の商品取り、コンサートのアーティスト決め、講演会の出演者決めなどの仕事をこなし、大変な経験をしながらよくみんなやってくれたと思います。また、1、2年生は逆に90人近くいて、大学祭を成功させようという後輩がたくさんいたので仕事も速く進み、かなり助けられました。1、2年生のときはあまり実感がなかったのですが、3年になって大学祭は実行委員の力だけではなく、下関地域の企業の方々のサポートや学生部の方々、学内の他のサークルの人達の支えがあってこそ成り立つものであるということを実感することができました。大変感謝しています。

今年は、コンサートのアーティストがB-DASHというノリが激しいアーティストだったので正直今の老朽化した市大の体育館で床が抜けてしまわないだろうかと不安がありましたが、なんとか無事に事故もなく成功してほっとしました。また昨年のような悪天候ではなく、天気がよかったのでテントが飛んだりというような大きなトラブルもなく順調に大学祭を行うことができ、運も味方してくれたんだなと思っています。フィナーレの花火を打ち上げたときは大変な思いをしてきたぶんすごく感動することができました。

大学祭実行委員会に入ってたくさんの貴重な経験をしたことで自分自身成長できたと思うし、いい友達や先輩、後輩に恵まれ大学生活のいい思い出を作ることができました。これからはOBとして学祭をサポートしていきます。



平成15年度就職状況

平成9年に就職協定が廃止され、1月という早い時期から会社説明会を開始する企業が多くなってきている。この影響を受け、本学では、学生が秋学期定期試験終了直後の2月中旬から就職戦線に突入していくため、就職委員もその対応に奔走した。

本学の平成16年1月15日現在の就職内定状況は、男子63.6%、女子59.3%、全体で62.2%となっており、前年同時期に

比較すると2.2ポイント低くなっている。このことは、就職内定未報告者、求職の意志を示さない者等も多く、その数値も影響する。毎年のことではあるが、学生が卒業するまでには就職状況調査を繰り返し、これが解消するので就職率も上昇する。

依然として厳しい雇用状況が続く中、16年度の新4年生には期待と健闘を祈りたい。

平成15年度就職内定企業一覧表(平成16.1.15現在)

■建設(6) オンテックス 日本ビーエス 積水ハウス 内野建設興業 ■製造 食料品・タバコ(9) コゲツ産業 マルウオ冷凍冷蔵 ダイショー フジパン ボンパドウル 廣榮堂 石丸製菓 日本食研 福岡ユーハイム ■製造 繊維(3) ジーベック フランドル ■製造 印刷(1) 富士印刷 ■製造 化学・石炭(1) 日本ケミファ ■製造業 鉄鋼・金属(1) 吉川工業 ■製造 一般機械器具(3) クボタ 長府製作所 三浦工業 ■製造 輸送用機械器具(1) 太平洋工業 ■製造 その他(6) アイリスオーヤマ スーパーサンシ ミカド 関門コンクリート工業 日之出水道機器 ■情報・通信(12) アイ・イーグループ キャノンシステムアンドサポート NTTドコモ中国 アクティス ドコモサービス九州 ビコシステム みなと山口合同新聞社 住生コンピューターサービス 大都販売(JMC) 中央出版 平成電電 ギミック・ネットワーク ■運輸(24) アジアナスタッフサービス ヤマト運輸 岡山県貨物運送 下関海陸運送 アイ・エム・エスグループ キューソー流通システム ムロオ 上組 関光汽船 三菱化学物流 新東京旅客サービス 神姫バス 西日本旅客鉄道 大海冷蔵 第1交通産業 日新運輸 日本通運 福山通運	■卸売(24) ウチヤマ商事 ダイワボウ情報システム トラスコ中山 ヤマエ久野 井上特殊鋼 花王販売中四国支社 アステム コタベ シモセン ダン・タクマ 山善 兼松コミュニケーションズ 常盤電機 常盤薬品 南国殖産 白石製菓 不二貿易 林 ■小売(54) CIIネットワーク HIヒロセ キルトスタジオ・エイター ネットヨタ山口 フルベール化粧品 マザーガーデン ヤマダ電機 ユニー ライフアシスト 伊東電機 下関三菱自動車販売 EBM イズミ エブリワン シムリー セブンイレブン・ジャパン タイヨー たけうち創美苑 ナフコ ひまわり ビュー ひろめ市場 ブルーグラス ペルーナ ポブラ マックアビー ヨドバシカメラ ローソン 下関大丸 雑貨屋ブルドック 山陽マルナカ 大塚家具 宮地電機 広島トヨタ自動車 広島県民共済生活協同組合 山下医科器械 山口ダイハツ販売 永富調剤薬局 アプライド アリスト 山口トヨベツ 生活協同組合おかやまコープ 生活協同組合コープやまぐち	■金融(33) ひまわりシーエックス SFCG トマト銀行 伊予銀行 広島銀行 香川銀行 香川銀行 山陰合同銀行 山口銀行 十八銀行 親和銀行 静岡中央銀行 中国銀行 島根銀行 百十四銀行 豊和銀行 観音寺信用金庫 玉島信用金庫 呉信用金庫 国内信販 三河信用組合 山口県農業信用基金協会 鹿児島相互信用金庫 信金中央金庫 水島信用金庫 大分みらい信用金庫 日本ユニコム 日本銀行 福井信用金庫 ■保険(8) あいおい損害保険 漁船保険中央会 富士火災海上保険代理店 明治安田生命 福岡 損害保険ジャパン 損保ジャパンひまわり生命保険 第一生命保険(相) 福岡支店 日本生命保険(相) 大分支社 ■不動産(4) アルファイン セイコー不動産 レオパレス21 大和リビング ■飲食・宿泊(16) カップ・クリエイト ホテル松政 ワタミフードサービス 益正グループ サイゼリア ジョイフル すかいらく スナダフーズ ゼンショー ダイム とんでん インスター産業 ハークスレイ	■医療保険(4) 武久病院 淳風会健康管理センター 新栄会病院 新田整形外科 ■社会福祉(6) 社会福祉法人ひまわりの会 社会福祉法人ほのぼの苑 社会福祉法人晩會 社会福祉法人健祥会 社会福祉法人光栄会 ■その他の教育(8) 家庭教師のファイト eisu ノヴァ 岡山コーポレーション 向学社 大原簿記公務員専門学校 ■複合サービス(1) 雲南農業協同組合 ■サービス その他(26) グッドウィルグループ ゲオ スタッフサービス セコム宮崎 ワイズワン アイ・ケイ・ケイ シンホーム ペルコ ワールドインテック 朝日広告社 日本セレモニー 三光商事 神崎会計事務所 石川会計事務所 全国共済農業協同組合連合会 宮崎県本部 JTB西日本営業本部 総合警備保障 ビーマインド 日品 日本サブライヤー 防府商工会議所 ブルーナイル ■国家公務(3) 自衛隊 日本郵政公社四国支社 日本郵政公社中国支社 ■地方公務(22) 国富町役場 愛知県警察本部 広島県警察本部 加茂町役場 九重町役場 熊本県警察本部 広島県庁 山口県警察本部 大阪府警察本部 大分県警察本部 仲南町役場 斐川町役場 備中町役場 福岡県警察本部 豊田町役場 国富町役場
--	--	---	---

合計 276名

中国で思ったこと、感じたこと(国外研修)

中国经济担当教授 齊 藤 節 夫



タクラマカン砂漠と風力発電

昨年、4月から7か月間青島大学に留学した。最初の3カ月はサーズのために青島市から出られなかったが、あと、2カ月間は調査旅行にでかけた。

私が中国に最初に行ったのは1976年10月の毛沢東の死の直後であり、その後、1984年の鄧小平が絶頂期の時期(中国建国35周年のパレードを実施)、さらに、1989年の天安門事件の直後と現代中国の節目の時期毎に訪中した。今回は江沢民体制から胡錦濤体制へと移行しつつある中国(つまり改革開放以来20余年、社会主義市場体制下の中国)の政治・経済、老百姓(庶民)の生活等の実態をなるべく多く見るのが目的であった。そのために、青島市内、山東省のみならず、東北地方、西北地方、四川省、上海周辺と精力的に調査旅行にでかけた。

総じていえるのは、以前訪中した時とくらべて中国社会全体が「小康」(生活水準がまずまずの状況)社会をめざす中で、社会が落ち着き、庶民が自信をもってきたと感じた。ただし、沿海部と内陸部の格差、農民と一部労働者の貧しさ、西部と東北地方の遅れ、国有企業の労働者の失業問題等深刻な課題も多い。また、上記以外で印象に残ったのは、敦煌、龍門、大足の石刻、ウルムチ・トルファン等西域の砂漠の厳しさ、東北での「満州国」の痕跡(旅順の戦場の跡、長春の都市の設計、満州事変の跡、ハルビンでの731部隊の跡)、成都の都江堰等である。

その他、数ヶ月間滞在してわかったことは、日常生活においては、中国では1人で外食するのはなかなか難しいこと(中華料理は多人数で食べるようにできている)、日本と水の性格が違うこと(水の差は留学生活で健康を保つには決定的に重要である)、中国で一番怖いのは自動車(自動車の増加率は急激で道をわたるのに苦労する)ということだ。

また、青島大学との交流面では、私が、市大と青島大学の協定を結ぶための準備のために木下学長の命で中山元学生部長らと青島大学に行ったのは14年前であった。その後、両校の教師の相互訪問、留学生、短期留学生の訪中を軸に相互の交流がつづいた。魯迅の言葉ではないが、初めに道があるわけでもなく歩く人が多くなると道が出来ていくわけであり、現在は小さな波風はあっても大きな道になりつつある。国際交流は大学関係者のみならず、市民の協力と援助、あるいは、友好都市間のバックアップ(下関と青島の貿易や投資、市民の相互訪問等)があって初めて成り立つものだと感じた。

野生ニホンザルを追って(国内研修)

哲学担当教授 山 戸 輝 雄

4月から9月まで、京都大霊長類研究所の野外観察施設を中心に、野生ニホンザルの調査・研究に出たので、この間の様子を報告したいと思います。主な調査地点は、下北半島臨野沢村、宮城県七ヶ宿町、金華山、高崎山、宮崎県幸島、屋久島です。

野生ニホンザルは、猿害などで農家の人には有害獣とみられるなど個別的な問題もあるのですが、人間と自然とのかわり方など、現代社会がかかえる根本的な課題を考える上での試金石となるのではないのでしょうか。ニホンザルは1亜種(ヤクシマザル)がいるのみですが、地域差がかなりあります。ヒトを除いて、最北限に生息する下北半島のサルは毛深く、性別判定も容易ではありませんでした。体重(季節変動がある)についても、幸島では最大11.2kgでしたが、下北では14kg以上の個体もいます。餌づけ群も今回の調査の対象としました。日本霊長類学会は1997.7に、今後新しく野生群を餌づけすることは避けることが望ましい旨の提言を行っています。サルの食性や行動を変えてしまうことになるからです。観光資源とならず、餌づけ放棄されたケースもあります。人間の思惑のままに翻弄されるその姿は哀れなものです。このほか、調査内容は多岐にわたりますので詳細は別の機会に述べたいと思います。



2003年5月、屋久島西部林道にて

「市町村合併と下関市」(市民大学連続講座) 終わる

第20回を迎えた今年の本講座は、「市町村合併と下関市」をテーマに、5回の講演を開催した。講演では、幅広い立場から市町村合併問題を学びあうことを目標に、憲法・地方自治法の専門家、行政・合併協議会幹部、地域福祉・住居学の専門家、経済地理学・地域経済論の専門家、新市まちづくり構想策定委員会委員長・環境論の専門家など様々な立場から多角的な問題提起がなされた。「現在の豊後地域において相応しい自治体の規模とはどれくらいか」「合併特例債が地方や国にもたらす経済効果、財政的負担は如何ほどか」など、大学における講演ならではの虚飾を排した、率直で解りやすい報告、問題提起、議論がなされた。この概要は冊子にまとめられ、本学図書館に所蔵される。最後に、ご協力いただいた関係各位、ご参加賜った市民の皆様、そして市大事務局の方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました。(産業文化研究所運営委員 関野秀明)

学会主催の公開学術講演会を開催

学会運営委員会委員長 西 田 雅 弘

12月12日午後、211教室において学会主催による公開学術講演会が開催された。講師はケンブリッジ大学教授のピーター・コーニッキー氏、演題は「イギリス人学者の目から見た日本の文化—江戸時代の女性の読書—」。

青島大学研究員による講演会は毎年定例化しているが、学会事業費による講師の招聘は1996年以来7年ぶり。一昨年度イギリスで在外研修された櫻木晋一教授が現地でコーニッキー教授と知己となり、別件で来日された機会をとりえて来関を依頼し、今回の講演会が実現した。

コーニッキー教授はケンブリッジ大学ロビンソンコレッジのフェローで東洋学部の教授。オックスフォード大学で19世紀の日本文学を研究して博士号を取得し、現在は書誌学および歴史学が専門。日本語が堪能で、「『金色夜叉』私論」(『日本文学』第29巻第9号、1980年)など、日本語や英語の論文が多数ある。京都大学人文科学研究所で戦後初の外国人教授として採用されたことでも有名である。

講演の冒頭、1864年の4国連合艦隊による下関砲撃に触れられ、長州側に死者が出たことを現在のイラク情勢と関連させてお詫びを述べられるなど、ウィットに富んだ話を交えて終始なごやかな雰囲気で行われた。

江戸時代には、中国から輸入された漢籍が日本でも印刷、出版されるようになり、また和文への翻訳も行われ、漢籍を異文化として扱うのではなく日本化していたこと、とりわけ女性には『論語』や『孝経』などを読むことが推奨され、『伊勢物語』や『源氏物語』などの和書は、儒教道徳の観点から適切でないと考えられていたこと、この点は、中世ヨーロッパでラテン語が学術語として男性の占有であった点と対照的である、などの内容であった。

配付された講演資料には、われわれ日本人でさえ日頃馴染みの薄い文語体の古文や漢文が引用され、それを流暢な日本語で読み解かれるコーニッキー教授の語学力は、ほとんど感嘆に値するものであった。イギリスの伝統ある大学の学術研究の奥深さに触れる思いがした。

講演会の開催は下関市の市報に掲載され、市民にも公開された。100名近い参加者があったが、そのおよそ半数以上は学外からの市民であった。授業料徴収との関連から基本的に通常授業の一般公開は難しい。しかし、今回のような高度な学術講演会に対する市民の要求が小さくないことも事実である。大学の地域貢献の観点からも、今後、学会のいっそう活発な活動が求められよう。

国民体育大会に出場して

— なぎなた競技会 —

経済学科1年 井 口 真 理

私にとって2度目の国体は初めてのときとは違い、周りからの期待と不安でいっぱいでした。選ばれたときは嬉しさで気合い十分だったのですが、日々練習していくにつれて、大会への不安と恐怖で気持ちが不安定になってしまいました。

しかし、大会開会式で、スタジアムの大きさや周りの人々の声援に感動し、各競技の選手の渾身の力を感じて私も頑張ろうという気持ちになりました。大会中の練習で他県の選手を見て、レベルの違いを感じ不安になることもありましたが、試合直前の私の気持ちは大会前の日々

より、ずいぶん穏やかになっていました。結局試合には負けてしまいましたが、今大会で私は精神的に強くなったように思います。それは練習中、何度もくじけそうになった私を支えてくれた仲間たちのおかげだと今でも感謝しています。

これからはもっと前向きに1歩1歩日々前進していきたいと思っています。



先頭から5人目が井口真理さん

学生団体新役員紹介

中央委員会

委員長	川邊 雄一	経済学科	2年
副委員長	山田 順子	国際商学科	2年
副委員長	本間大久馬	経済学科	2年
書記長	長尾 愛子	経済学科	2年

体育会

会長	久末 剛	国際商学科	3年
副会長	妻鳥 克也	経済学科	3年
書記長	迫田 真志	経済学科	3年

文化会

会長	中津 智文	経済学科	3年
副会長	小林 直美	国際商学科	3年
書記長	吉富 紀行	経済学科	3年

大学祭

委員長	山本 敏也	経済学科	2年
副委員長	片山 浩一	国際商学科	2年
副委員長	八木 隆志	国際商学科	2年

「長州五傑」の陶板

攘夷戦争(1864年)の前年に長州藩が伊藤博文など五人の青年を密かにイギリスに留学させていた。その青年たちのロンドン大学での写真が陶板となって学術センター玄関ホールに飾られている。西日本国際交流推進委員会専務理事の野村武史さんが本学に寄贈してくれたもの。眺めて幕末長州藩の政策戦略に思いを巡らせて頂きたい。(下山)

下関市立大学後援会援助規程による表彰

(平成15年3月・平成15年10月)

【各種大会(体育・文化)出場報奨】

- * 第30回山口県少林寺拳法大会
組演武一般段外の部 第2位 植村 美恵・中村ちはる
- * 第31回山口県少林寺拳法大会
組演武一般初段の部 第2位 石井 真・近江 和明
組演武一般段外の部 第1位 早川 直孝・室屋 利成
- * 第22回少林寺拳法西中国学生大会
団体演武段外の部 第1位 少林寺拳法部
組演武男子初段の部 第2位 小西 章功・福井 健二
組演武男子段外の部 第1位 高野 聖・中田 祐志
- * 平成14年度山口県体育大会(少林寺拳法競技)
組演武一般段外の部 第1位 石井 真・近江 和明
組演武一般段外の部 第2位 高野 聖・中田 祐志
- * 第38回少林寺拳法中四国学生大会
組演武男子初段の部 第1位 高野 聖・中田 祐志
単演の部 第2位 小西 章功
組演武女子段外の部 第1位 下脇 百代・山崎 梨絵
- * 第48回北九州・下関地区大学体育大会秋季大会
ソフトテニス競技女子団体 第1位 ソフトテニス部
- * 第49回北九州・下関地区大学体育大会春季大会
陸上競技男子4×400mリレー 第2位 中脇・濱田・
濱崎・宮武
ソフトテニス競技女子団体 第1位 ソフトテニス部
硬式庭球競技団体 第2位 硬式庭球部
- * 第49回北九州・下関地区大学体育大会秋季大会
剣道競技女子個人 第2位 真崎絵里香
剣道競技男子個人 第2位 大西 雄二
ソフトテニス競技女子団体 第1位 ソフトテニス部
- * 第50回北九州・下関地区大学体育大会春季大会
陸上男子円盤投げ 第1位 曾我 法精
砲丸投げ 第2位 //
- * 平成14年度山口県学生バスケットボール選手権大会秋季大会
男子I部 第2位 バスケットボール部
- * 第16回秋期北九州・下関地区学生ソフトテニス選手権大会
女子ダブルス 第2位 元山 亜希・日野原景子
- * 平成14年度山口県学生ソフトテニス選手権大会
団体 第1位 ソフトテニス部
女子ダブルス 第1位 元山 亜希・日野原景子
- * 平成14年度秋季北九州学生テニス選手権
男子シングルス 第1位 穴田 晃平
- * 平成15年度中国学生トーナメント大会
男子ダブルス 第2位 穴田 晃平
(もう1名は他大学生)

- * 第26回中国語暗誦弁論大会(燎原会主催)
弁論の部 第1位 岡 雅之
- * ひろしまフラワーフェスティバル よさこいサークル(震度10)
「きんさいYOSAKOI」 パフォーマンス賞/
第1回よさこい山口県大会 山口県知事賞など
- * 平成14年度山口県総合ランニング(水泳) 山田 雅也
50m背泳ぎ 一般第2位/200m背泳ぎ 一般第1位

【各種資格取得報奨】

- 経済学科
H15.3卒 谷 和幸 秘書技能検定 2級
H15.3卒 // ビジネス能力検定 2級
H15.3卒 松岡 佑樹 初級システムアドミニストレータ
4年 田中 隆弘 初級システムアドミニストレータ
4年 中尾 美保 秘書技能検定 2級

- 4年 林 靖之 初級システムアドミニストレータ
2年 原田 陽子 秘書技能検定 2級
2年 吉田 菜紀 秘書技能検定 2級

国際商学科

- H15.3卒 青木 正子 ハングル検定 準2級
H15.3卒 茶谷 敬子 初級システムアドミニストレータ
H15.3卒 山本 修 簿記検定(商工会議所) 1級
4年 種村 茂徳 初級システムアドミニストレータ
4年 仲吉 睦美 TOEIC 750点以上
4年 // 実用英語技能検定 準1級
4年 根岸 昭文 初級システムアドミニストレータ
4年 畑瀬 美鈴 TOEIC 750点以上
4年 廣川 信生 TOEIC 750点以上
3年 谷 絵里奈 秘書技能検定 2級
3年 長岡 弘実 初級システムアドミニストレータ
3年 原野 亨枝 秘書技能検定 2級
2年 池本 隆彦 TOEFL 213点以上
2年 辻下景一朗 初級システムアドミニストレータ

行事記録(2003年9月~12月)

- 9月1日(月) 春学期定期試験 9/11まで
12日(金) 第2回就職ガイダンス
20日(土) 大学院入試
24日(水) 市民大学(中国語会話初級) 12/10まで
市民大学(朝鮮語会話初級) 12/10まで
26日(金) 市民大学(初心者のためのパソコン入門)
11/14まで
29日(月) 大学院合格発表
30日(火) 春学期卒業式
10月2日(木) 市民大学(英会話中級) 12/18まで
6日(月) 秋学期授業開始
29日(水) 北京大学学生交流協定書締結調印式
31日(金) 大学祭 11/3まで
11月10日(月) 市民大学(連続テーマ講座) 11/21まで
「市町村合併とこれからの下関市」をテーマに5回の講演
13日(木) 第3回就職ガイダンス
22日(土) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・
編入学入試
27日(木) 学長選挙
12月1日(月) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)・
編入学合格発表
24日(水) 冬季休業開始 1/6まで
26日(金) 公務納め

平成16年度行事予定

- 4月1日(木) 春学休業 7日まで
8日(木) 入学式
9日(金) オリエンテーション
12日(月) 春学期授業開始
6月1日(火) 開学記念日
7月16日(金) 春学期補講 21日まで
23日(金) 夏季休業 8月31日まで
31日(土) オープンキャンパス
9月1日(水) 春学期定期試験 14日まで
10月4日(月) 秋学期授業開始
29日(金) 大学祭 11月1日まで
12月25日(土) 冬季休業 1月7日まで
1月26日(水) 秋学期補講 28日まで
2月2日(水) 秋学期定期試験 15日まで
3月25日(金) 卒業式